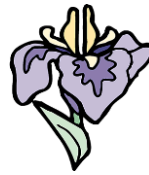


アイリスLetter



2017年5月31日発行
第2号
広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

5月13日体育大会当日、早朝にはぐずついていた空も晴天に代わり、今年度最初の中高合同行事である体育大会が牛田のグラウンドで行われました。雨後の澄み切った空気と鳥達のさえずりの中、陽光に映える木々の若葉は格別に美しく、この恵まれた自然の中で、次々と繰り広げられる競技や演技に一生懸命取り組んでいる生徒たちの姿は、それと同じ位に輝いて見えました。生徒たちが一生懸命取り組んでいる姿は、それだけで美しく、見ているものに元気や力を与えてくれます。

人間にとって、自分が今やりたいと思うことに対して無心に取り組むことほど幸せなことはありません。その時、身体的にも精神的にも、また情緒的にも解放されて、各自の持っている力が十分に、いや時には持っている以上の力が発揮される姿を見ます。学校の日常を離れた体育大会のような行事の中では、そうした姿が顕著に表れます。

子どもが成長する中での自立ということについて考える時、小さい頃には、一人で排便ができる、歯磨きができるようになる、といったことに始まり、朝自分で起きられる、部屋を整理できる、自分で勉強ができるといった外的に整えられたもの（これも大切なことではありますが）だけで測ってしまいがちです。しかし、へたをすると、親の手を煩わさず、親の望むような育てやすい子になってくれていることを、自立できていると勘違いしがちな面もあります。ある教育アドバイザーは、本当に大切な自立とは、自分がやりたいことを自分で見つけ、自分でどんどんやっていく「自己実現力」だと言っています。真に自分のやりたいことをやらせてもらっている子ども（わがままという意味ではなく、適性や能力を見出してもらい、伸ばすように導かれている子ども）あるいは、それを探究していく姿勢を持った子どもは、先に書いたような生活習慣が十分にできていなくても、やがて、生活習慣が改善されなくては「自己実現」が難しくなることに気づいて自然と改善していくのです。

子どもが宿している生命力・能力が生き活きと伸びることを本当に期して育てるのか、親の手の中で育てやすい整った子どもになることを良しとして育てるのかは、大切な私たちの子どもの自立を考える上で大変重要なポイントになると思います。日本の子どもの自尊感情が欧米やアジア諸国のそれと比べてかなり低い水準にあることを指摘する声が様々な方面で聞かれ、色々な意見も出ていますが、私は、日本の社会における子どもの自立への認識と対応の仕方が大きく影響しているのではないかと考えています。体育大会での生徒たちのエネルギーに満ち溢れた姿を見ながら、この素晴らしい生命力が、益々生徒たちの日常の学校諸活動の中で、また家庭生活に於いて輝いてほしいものだと思います。

さて、この度のPTA総会では、澤井会長をはじめとする新たな役員体制が発表されました。保護者の皆様と学校とが協力し合い、今年度も生徒たちが生き活きと活躍できる学校環境作りを進めていきたいと考えております。また、これまで、福戸山会長を中心としてご尽力くださった皆様方には大変お世話になりました。ここに心からの感謝を申し上げます。

聖書の言葉

「木には希望がある、というように、木は切られても、
また新芽を吹き、若枝の絶えることは無い。」

旧約聖書ヨブ記 14章7節

(校長)

2017年度体育大会

体育大会前日の夕方から当日朝にかけて、強い雨が降るとの予報があり、前日準備と大会当日ともに予定通り行えるかたくさんの不安を抱えながら当日を迎えました。あけてみると、すべての前日準備が終わるまで雨は降らず、当日も朝5時頃で雨はやみ、心配されていたグラウンド状態も問題のないレベルまで回復し、予定通り体育大会は開催されました。それだけでなく、天候はどんどん良くなり、前日までの不安がどこかへ吹き飛んでしまうほどの青空の中、女学院生の元気な姿を一日中見ることができました。

静寂の中、吹奏楽部のファンファーレとともにスタートした行進は、皆の息がぴったり合い「ザッ、ザッ、ザッ」という足音も見事にそろい、鳥肌が立つのを感じました。高校生は雨のため行進練習ができなかったにもかかわらず、本番でそこまでの行進ができる女学院生に脱帽です。

競技では、中学生の「100m 走」から始まり、学年種目や各色対抗の競技など、様々な競技に、力の限りを尽くし、勝利を目指して戦う女学院の姿を見ることができました。

中1にとっては初めての体育大会。先輩たちの迫力に圧倒されながらも、「台風の目」では小さな体を使って元気よく走り回り、ほほえましい気持ちにさせてくれました。中2の「棒うばい」と中3の「騎馬戦」では、非常に力強く迫力のあるクラス一丸となつての戦いについて見入ってしまいました。実は、体育科教員としてはケガをしないかと内心ひやひやしていましたが、ケガなく無事終わることができて良かったです。

高1の「ダンス」、高2の「跳んだもん勝ち」、高3の「むかで競争」では中学生よりさらにクラスの団結力を感じました。

クラスの友達と真剣に取り組み、楽しみ、喜び、悔しがる姿が非常に印象的でした。

その他にも体育大会の醍醐味である「リレー」や女学院の名物競技「着せ付け競争」など最初から最後まで皆が全力で正々堂々と戦い、たくさんの感情が入り乱れた体育大会でした。今年もまた、女学院生の日頃の姿とは違った一面を見ることができた素敵な一日でした。

最後に、今年の体育大会も体育委員を中心とした多くの各係生徒の活躍だけでなく、PTAの皆様にもたくさんのご協力をいただき無事に終えることができました。深く感謝いたします。ありがとうございました。

なお優勝は赤組、準優勝は緑組、応援団金賞は緑組と黄組、銀賞は青組でした。

(体育科)



- 開会式 -



- バン食い競争 -



- 着せ付け競争 -

高1 進路合宿

4月26日(水)から27日(木)にかけて、グリーンピアせとうちで進路合宿を行いました。合宿の目的は「自分をしっかり見つめ、将来について考える」です。高校生活のスタートにあたり、進路実現のために、自分はどのように学校生活を送るかをHR活動を通して考えました。開会礼拝の後、進路指導部長の中村先生の講演で、高校生活や授業、日々の学習に必要な心構えについての話を聞きました。昼食後、各クラスに分かれ、春休みに書いた自分史や保護者の方からの手紙を読んで、自分自身を見つめることをテーマにHR活動を行いました。夕食後は、翌日にクラスで発表する「自分を語る」の原稿作りをして1日目を終わりました。2日目は、原稿を基に各クラスで一人ずつ発表を行いました。一人ひとりが自分自身を語り、友人の話に真剣に耳を傾けることで、自分の将来をどのように築いていくか、高校生としてどう日々を過ごすかなど、じっくりと考えることができました。これらを糧に充実した高校生活を送ってけると信じています。

保護者の皆様にはお忙しい中、思いの込められた手紙を書いていただき、この合宿内容を濃いものにしていただきました。心より感謝申し上げます。

(高1学年会)

中1 学年合宿

中1は4月27日(木)、28日(金)の2日間、グリーンピアせとうちへ合宿に行きました。今年は天気にも恵まれ、両日とも充実した時間を過ごせました。1日目は、「同級生インタビュー」があり、友達との意外な共通点や今まで知らなかった自分の一面を知る良い機会となりました。これまであまり話せなかった友達ともゆっくり話すことができた人も多かったようです。2

日目は、校歌・讃美歌コンクールとドッジボール大会がありました。各クラス、校歌と担任の選んだ讃美歌を合宿に向けて練習してきました。どのクラスもレベルが高く、賞を選ぶ校長先生たちは大変だったようです。今年は指揮をする先生たちもハイレベルでした。ドッジボール大会では、久々に運動したという人も多かったようですが、しっかり体を動かしたり、友達を応援したりすることで、クラスで団結することができました。帰りのバスの中でも疲れた様子はなく、隣の友達と楽しそうにしゃべっている人が多くいました。楽しく有意義な思い出に残る2日間になったことと思います。

(中1学年会)



① 中2 <広島市青少年野外活動センター>

中2の遠足は7月に行われるチャレンジキャンプの練習として、広島市青少年野外活動センターにて飯ごう炊さんを行いました。カレーライスを作るのはもとより、生徒は普段は行わない薪割りや火の焚き付けを工夫して行いました。苦労して作ったカレーライスだけにおいしさもひとしお。また怪我などもなく無事に遠足を終えることができました。多くの生徒が「薪割りがとても楽しかった」という感想を口にし、頼もしさを感じました。7月のチャレンジキャンプも皆が怪我なく、楽しく、そして成長できるものになればいいと思います。

(中2学年会)

② 中3 <蜂ヶ峯総合公園>

中3は「体を動かそう」というテーマを設定し、山口県玖珂郡和木町の蜂ヶ峯総合公園に行きました。全長 255mのローラー滑り台、フィールドアスレチック、バッテリーカー、ふれあいミニ動物園などのアトラクションで思う存分楽しむことができました。

(中3学年会)

③ 高2 <しまね海洋館アクアス>

高2は島根県の水族館アクアスに行ってきました。シロイルカのミラクルリングや、ダイオウイカの標本(5.7m)など見どころが沢山ありました。天候にも恵まれており、砂浜に出て、綺麗な青い空と日本海を観ることができました。勉強に疲れる日々の中でよいリフレッシュになりました。



日本海に向かってポーズをとる高2

(高2学年会)

④ 高3

高3の学年行事は、クラスごとHR委員を中心に行き先、活動内容、スケジュールなどを決めて遠足を行いました。A組は片道2時間30分もかけ、縁結びの最強スポットと言われる出雲大社に。何やら真剣な表情で参拝していました。B組はもみのき森林公園でバーベキューを行いました。火おこしには苦労しましたが、色々な食材を各班で用意していて、とても楽しそうでした。C組は宮島観光の後、カルビー広島工場の見学をしました。徹底した衛生管理の下で、大量のスナック

菓子が製造されている様子を見て、圧倒されました。帰りには記念の集合写真やお土産のお菓子まで準備していただき、大満足の遠足となりました。D組は平田観光農園へ行き、イチゴ狩りとスイーツ作り、バーベキューをしました。それぞれお腹も心も大満足の様子でした。E組は世羅高原の牧場でBBQとジェラートを堪能した後、クリームパンで有名な八天堂の工場へ。お肉、スイーツと、高校生の好きなものを満喫した『食いだおれの旅』でした。

どのクラスもそれぞれの場所でしっかり堪能し、心も体もリフレッシュできました。

(高3学年会)

PTA総会

2017年度のPTA総会が5月20日(土)に行われました。例年この日は、授業参観日でもあったので、朝のホール礼拝(土曜日は中学の礼拝)から参加される保護者も多く、中学の各教室の授業では、熱心な参観が行われました。

総会は、11時から始まりました。まず、昨年度の事業・決算報告があり、続いて新年度の役員選出、事業・予算案が承認されました。あらためて、女学院でのさまざまな活動はPTAの方々によって支えられていることを確認しました。そして、昨年度予算から緞帳のクリーニングや音響反射板を購入していただきました。舞台セッティングの際にも安心して準備でき、より良い発表につながるようになりました。

昨年度役員の皆様、労を惜しまずPTA活動に取り組んでいただき、ありがとうございました。新年度の役員を引き受けてくださった皆様、ご多忙な中をありがとうございます。1年間どうぞよろしく願いいたします。

(中学教頭)

生徒会活動（中学）

中学生徒会各委員会の今年度の年間目標を紹介します。なお、今年度より生徒会会計は、選挙ではなく、中3各クラスから1名ずつ選出されることとなりました。

五人委員会 楽しく 全力 五人委員。

評議会 一人一人の意見をのがさず大切に
NEW JOGAKU IN LIFE 2017!!!

礼拝委員 隣人愛を大切にして心豊かな
礼拝を行うために精一杯活動
しよう。

美化委員会 明るく、清く、元気な掃除。

保健委員会 身だしなみと健康を整えて、
女子力UP。

図書委員会 より多くの人に図書館を快適
に利用してもらう。

体育委員会 みんなで元気に体を動かそう。

選挙管理委員会 楽しく明るく正確に！
Let's選挙。

生徒会会計 正確に丁寧に計算しよう！

各委員の目標達成に向けて、皆さまのご協力をお願いします。

（中学生徒会顧問）

生徒会活動（高校）

高校生徒会執行委員会では、今年度も4月22日（土）に、高1・高2の27名であしなが学生募金のボランティアに参加しました。参加してくださった皆さん、ありがとうございました。募金をしてくださる方々からもたくさんの励ましの声をいただき、この活動の意義を感じながら、熱心に1日活動しました。

体育大会では、執行委員会主催のもと、応援団がすばらしい演技を披露して華を添えてくれました。年間テーマ「**CHALLENGE**」を取り入れ、それぞれ工夫を凝らしていました。結果は、金賞一緑組・黄組、銀賞一青組です。どのカラーも、リーダーさんを

はじめ団員が一丸となって準備を進め、厳しい規則のなかで作られた衣装もとても素敵でした。

次の大きな行事は、中高合同の文化祭です。実り多いものになるように準備していきましょう。

（高校生徒会顧問）



生徒会 春の公演

① 高校演劇部 春の公演

高校演劇部は成井豊作「きみがいた時間、ぼくのいく時間」を4月22日（土）に上演しました。

この物語は主人公の秋沢がタイムマシンに乗って39年前へ遡り、亡くした妻を救うために奮闘するお話です。前回の春の公演と同じく、今回の作品もテーマは「愛」でした。1人の女性を守り抜くためだけに生きる。秋沢の愛情は計り知ることはできません。しかし彼の愛を支えたのは、他の登場人物たちが胸に秘めたそれぞれの愛でした。繊細な感情の表現はもちろんのこと、場面転換が非常に多い難しい作品でした。たくさんの議論をしながら部員一丸となって最後まで練習に取り組みました。難題だらけの作品でしたが、引退する高3にとって思い出深いものになったことと思います。お越し下さった多くのお客様に感謝申し上げます。次回公演も心を動かせるものに仕上がるよう部員顧問共々精進してまいります。

（高校演劇部顧問）

② 中高マンドリン部 第37回定期演奏会

4月23日（日）にマンドリン部では第37回定期演奏会を催しました。

第1部は、昨年11月の県大会で演奏した「独創的序曲『国境なし』」から始まり、

その他に「歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』より間奏曲」、「小組曲『降誕祭の夜』」を演奏しました。第2部は、高校生11名によるアンサンブルでした。11人で息を合わせて演奏する姿はとても頼もしく、第1部とは違った魅力をお届けすることができたのではないかと思います。第3部は、第1部と同様、部員全員での合奏でした。最後に演奏した「組曲『ナポリの風景』」は、古き良き時代のナポリの風景を躍動感ある親しみやすいメロディーで描写した曲です。聴きに来てくださった皆様にとって、ナポリの情景を思い浮かべることができるような演奏となっていれば、嬉しく思います。今年も多くの皆様にご来場いただき、部員一同大変感謝しております。また、演奏会を行うにあたってアナウンスや照明、受付などで協力していただいた各クラブの生徒たち、これまで部員たちを支えてくださった保護者の皆さま、心から感謝いたします。次は7月の全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールに向けて、精一杯頑張りますので、今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。



(中高マンドリン部顧問)

NPT再検討会議準備委員会報告

5月2日(火)～8日(月)にかけて、高校生8名(うち2名は女学院生)は、2020年のNPT再検討会議に向けた準備委員会へ参加するため、オーストリアのウィーンへ向かいました。NPTは5年ごとに更新されるのですが、その前に準備のための会

議が開かれます。今回の会議は2020年の会議に向けた第一回目のものでした。

広島女学院は、核兵器廃絶を求める「平和首長会議 2020年ビジョン」のために署名を集めています。2008年から48万筆もの署名を集め、集まった署名は国連へ提出しています。今回はNPT準備委員会の会長に約6万5千200筆の署名を渡しました。

5月8日に開催された平和市長会議ユースフォーラムでは、広島、長崎、ドイツの生徒・学生が世界はどのように核廃絶を達成していけるかという考えについてプレゼンを行い、女学院生は署名活動、PS活動、また望ましい世界の在り方について論じました。研修中、生徒たちはNPT準備委員会による会議に傍聴という形で参加し、核兵器廃絶についての様々な議論を聞くことができました。

また、CTBTOやIAEAといった国際機関の本部にも訪問する機会を得ました。両機関は、各国に核兵器実験を禁じたり、原発の平和利用を促進したりといった国連の中でも重要な役割を担っています。特別講義や見学を通じて、生徒たちは多くの関係機関が核兵器の問題について働きかけていること、その仕組みについて学ぶことができました。

他にもウィーン・インターナショナル・スクールへ訪問し、広島と原爆についてディスカッションを行うことができました。生徒たちは広島について学ぶことや英語で自らを表現する能力の大切さに改めて気づかされたようでした。



(グローバル教育推進部)

保健室だより (2)

4月より、健康診断を順次行っています。6月15日(木)の午後には、耳鼻科・眼科・歯科検診を予定しています。自分の体を見つめるよい機会です。必ず受けるようにしましょう。健康診断の結果、異常の疑いが見つかった人にもお知らせをしています。お知らせを受けた人は速やかに受診をし、結果を保健室までお知らせください。

体育大会や中間テストなどが続き、疲れが溜まっていることと思います。十分休養をとり、体調を整えましょう。

(保健室)

心の健康 (2)

前回ではストレス(STRESS)解消のヒントを頭文字順にお知らせしました。今回から1つずつ詳しくお伝えします。

S-sport 運動をしよう

人の心と体はうまくつながっています。心配事が続くと胃が痛くなったり、潰瘍ができたりと心因性の身体症状が出ます。また、体が疲れ過ぎるとイライラしたり、気分が滅入ったりします。これらは心身が関係していることを示しています。

スポーツ・運動は体を鍛えるだけでなく、体の方から心に働きかけることになります。意識的に体を動かすことで機能も血液の循環も良くなり、爽快な気分となり、ストレスも自然に解消します。

6月は梅雨で空気がジメジメし、気持ちも沈みがちです。このような時こそ家庭で一工夫して心身の健康に気をつけましょう。

(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学バレーボール部

- * 広島市バレーボール選手権大会 (中区大会)
優勝 ⇒ 市大会への出場権獲得

◇中学卓球部

- * 広島市卓球選手権大会 (中・南区大会)

団体: Aチーム 2位
Bチーム 1位

個人: 5名が市大会に進出

《高校》

◇高校卓球部

- * 広島県高校卓球選手権 広島地区予選

団体: ダブルス ベスト16
T・H (3-E)・
K・A (3-C) 組
O・N (2-E)・
Y・M (2-B) 組
ダブルス ベスト32
A・Y (3-B)・
F・Y (3-C) 組
I・Y (2-E)・
S・H (2-B) 組

- * 広島県総合体育大会 (卓球の部)
広島地区予選

団体: A級 3位

◇高校水泳部

- * 広島地区春季水泳競技大会

T・M (2-D)
200m個人メドレー 1位
400m個人メドレー 1位

◇高校ソフトボール部

- * 県総体 広島地区予選

第1代表決定戦 女学院 10 - 3 安芸南・五田市

◇個人の活躍

- * 日本珠算連盟主催「そろばんグランプリ
広島2017」 高校・一般の部

N・A (1-D)
個人総合競技 2位
読上暗算 3位

⇒ 全国大会「そろばんグランプリジャパン
2017」へ広島県代表選手として出場

今月の聖句

短く空しい人生の日々を、影のように過ごす
人間にとって、幸福とは何かを誰が知ろう。

コヘレトの言葉 6章 12 節

『ぼくを探しに』という絵本をご存知でしょうか。この主人公は自分の欠けている部分を気にして、その欠けている部分を探す旅に出ます。

私にも足りないかけらがあります。私は美術部に所属していますが、これとって上手に絵が描けるわけではありません。自分の納得できる作品を完成させたこともありません。絵の他にも欠点だらけがゆえに、悩むこともたびたびあります。しかしよく考えてみて下さい。人はだれしも自分に足りない何かを追い求めて生きているのかもしれない。完璧になることが人生の目的でしょうか。その足りないかけらを探す努力の過程こそが美しく楽しいものであること。またそこで得る知識や人とのつながりも自分自身にとって大切なのではないかと思います。自分に足りない何かを探す旅、すなわち人生は完全ではない日々の重なりから成っています。でも「完全」ではないからこそ人生を楽しむことができるのかもしれない。

～2017年5月2日生徒礼拝より～



(聖書科 T. M)

6月行事予定表

1	木	夏服更衣 教育実習(6月21日(水)まで)
2	金	
3	土	英語検定(学校実施) ⑨ 県総体
4	日	
5	月	中間テスト素点確認 面接週間(40分授業)
6	火	鑑賞行事 ③ 3,4限 ⑨ 5,6限
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	高3進研サークル模試 リーダーブレキヤンブ
11	日	
12	月	平和を祈る週 木曜授業 1限9:00～
13	火	
14	水	
15	木	第2次スクリーニング(午後授業なし)
16	金	45分授業 平和を祈る週特別礼拝(高校7限～)
17	土	45分授業 1限8:40～ 平和を祈る週特別礼拝(中学4限) 第1回SGH研究発表会(午後)
18	日	
19	月	
20	火	参観日
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	中2・3父親母親教室
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	